

課題	● 路線バス廃止・縮小などによる二次交通の空白地帯化 ● 交通手段不足による観光客回遊減少と産業の衰退 ● データをもとにした需要最適化および交通にかかる人手不足		
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ①伊勢鳥羽志摩地域 シェアサイクル設置とサイクルトレイン(既存事業)およびそれらをつなぐMaaSにより幅広いサイクルツーリズムを推進する ②吉野地域 シェアサイクルの設置により交通空白地帯を解消する また、一次と二次交通を直接つなげてシームレスな利用体験を目指す		
	[モビリティ・データの取得と活用] ● シェアサイクルにて取得したポート毎の利用回数などのデータについてBIツールの導入で継続的にグラフ等で確認できる仕組みを構築する		
	[エンドコンテンツとの連携] ①伊勢鳥羽志摩地域 MaaSシステム「ぶらりすと」上において一体的に紹介する エリア観光パンフレットにQRコードを掲載する ②吉野地域 アプリ「めぐる吉野」にてシェアサイクルとともに観光情報を掲載する 近鉄WEBページにおいて観光・暮らし情報とともに掲載する エリア観光パンフレットにQRコードを掲載する		
	事業エリア/交通事業	行政区域:三重県伊勢市、鳥羽市、志摩市、奈良県吉野町 鉄道:近畿日本鉄道(株)山田線、鳥羽線、志摩線、吉野線 他交通事業:路線バス…三重交通(株)、船舶…志摩マリンレジャー(株)	
	MaaSアプリ等	【MaaS】 ①伊勢鳥羽志摩地域 MaaSシステム「ぶらりすと」 ②吉野地域 近鉄WEBページおよび特急車内QRコード	【データ分析】 ・BIツール「Tableau」
	データの活用等	■ データの取得方法:「ぶらりすと」と近鉄WEBページおよび特急車内QRコードからの遷移数を確認、およびシェアサイクルの利用者数・利用台数・GPSヒートマップなどを収集 ■ データの活用方法:BIツール「Tableau」にて随時グラフ等で関係者がデータを確認する仕組みづくりを通して、閑散期や移動需要を把握し交通政策および観光誘客に活用する	
効果	座組		
	スケジュール		
事業の新規性	実施団体 全体統括・一次交通運行主体 近畿日本鉄道 地域調整等 市役所・各種団体 MaaS改修 伊勢志摩観光コンベンション・近鉄GHD データ 株式会社セールスフォース・ジャパン 二次交通運行主体・維持管理 近畿日本鉄道 OpenStreet サービス提供		
	4～6月 計画作成・仕様確定 7～9月 システム改修・二次交通整備 9月末 サービスイン 2月末 効果測定		